

Title	小野塚教授著 欧洲現代政治及学説論集
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1916
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.10, No.8 (1916. 8) ,p.1201(165)- 1204(168)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19160801-0165

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ざる結果として比較的將來を顧慮すること
少なく従つて價值時差高し。

第六款 習 慣

以上説述せるが如く、各個人に對する資金の
價值時差に影響を及ぼす原因は其數少からずし
て、此等多數の原因が結局各個の價值時差を定
むるものなりとす。従つて一階級例へば商人の
夫れは労働者の夫れよりも常に高しと云ふこと
を得ず。一個人が高級價值時差を有するか否や
を視察せんと欲せば、上叙の事情を考察せる上
にて判斷するを要す。而かも一個人が何故に或
一定の價值時差を有するかは是等の事情に於て
其個人が如何なる地位を占むるやを知るを得ば
之を説明するに難からざるならん。

然りと雖も、非營利資金の價值時差に於ても
營利資金の夫れに於けるが如く習慣の力を認め

ざる可からず。即ち自己の感ずる價值時差の如
何に拘はらず、世人一般の價值時差の影響を蒙
りて、或は比較的低位ならざれば資金を借用す
るを見合せ、或は比較的高率なる利子を支拂ひ
て借財するを躊躇せざる者ある可し。

批評と紹介

小野塚教授著『歐洲政治及學說論集』

大正五年七月博文館發行
葡版四三六頁定價一圓〇八錢

ミンスタトベルグ教授の近著『心理學通論』
を觀るにその純理の部を分て因果心理學 Causal
Psychology 並に目的心理學 Purposive Psycho-
logy の二編と爲せり。唯物論に對して唯心論の
顛顛し得る限り、天則に依て拘束さるゝ自然界
と異りて精神界に自由存すとの信念に動搖を來
さざる限り、人事が或る點まで精神一到何事不
成と云へる格言に依て説明さるゝ限り、心意の
因果論的説明を以てのみ満足する能はず、必ず
や目的論的説明を以て之を補はざる可からず。
而して政治上の自覺とは意識せる行動に依て政

治上の事象を左右せんとするに外ならざれば、
政治史の研究は必ずや政治學說の研究と相俟て
進まざるを得ず。多年セニヨ一ポス一流の皮相
的解釋を現代政治の上に加へて以て満足したり
し評者は、ツィーグラ一教授の『獨逸思潮史』を
熟讀せるより以來殊にこの感を深ふし、政治史
の講述の政治學說の研究と相離る可からざるを
思惟して、宛かも茲に悟道の端を啓きたるの懷
を爲せり。而して小野塚教授の現代政治史に關
する新著が其一半を政治學說の論評に割かれた
るを見て評者は敢て茲に政治史研究の新運動は
既にその端を發せしと斷言せんとするものな
り。

小野塚教授は佛人サレーユの比例代表論を紹
介せるうちに『文明の進歩に伴ふて階級の利害
は遂に第二位に下るの時期到來す可し、蓋し文
明人の思想は物質的生活の改良よりは無形的發
達を一層尊重す可ければなり』と云ひて、人は

食物よりは正義を一層必要と感ずとの句は特に佛國人に適中すと評せり。是れ實に唯物論的史觀の以て進歩せる社會の歴史を説明し難き所以にして、富國強兵は必ずしも國家唯一の理想にあらず。但し等しく正義と云ふも之を主張するもの、立脚地の異なるに従て霄壤の差を生ぜずんばならず。強暴を挫いて弱小の獨立を扶くるこそ正義なれと説くもの、側に、新進氣鋭の民族は須らく腐敗退嬰して又自立の力なき民族を吞併す可し、是れ却て大局の上より見て正義に合へりと説くものあり。かるが故に頭腦の軟弱是の如き輩は之が取捨選擇に迷ひ、鼠小僧を呼んで義賊となす底の見識を以て、獨逸の軍國主義を謳歌するに至れり。此の時に方て英國の帝國主義と獨逸の軍國主義に就て徹底せる理會を有するは最も切要のことたり。

一八八四年十月十五日牛津大學の博物館に於て就職演説を試みたる際『歴史は過去の政治に

過ぎずして政治は現在の歴史に過ぎず』と述べたるフリーマンは、シーリーと共通の思想を懷抱せる先輩にして、而してそのランケの學派に屬することはフィッターの『近世修史學史』に示せるが如し。故に獨逸の軍國主義唱道者たるトライチケと英國の帝國主義鼓吹者たるシーリーとは思想の極めて相接近せるものあり。論者或はトライチケを以てマコーレーに比するものあり、その雄辯宏辭民族主義の上に立ちて主觀的なる歴史を後世に遺せし點は頗る相似たりと雖も、第二世紀の初頭に於ける英獨兩國の政治思想を左右しつゝあるの歴史家は何人ぞやと云は、勢ひ獨のトライチケに配するに英のシーリーを以て之に應せざるを得ざるなり。小野塚教授はシーリーの學説を論評せる傍、更に帝國主義實現の趨勢を述べて、その『平等的基礎に於て英帝國を維持せん』とするものなるを指摘せり。從來屬領視せる印度よりも次期の帝國協

議會には參列者を出さんとするの希望提起せられたるが、若しこの希望にして貫徹されんか。英國に於ける帝國主義は確に平等的基礎の中に立てるものとなる可し。之に反して獨逸の軍國主義は他國の支配を受くる民族の爲にはその自由を主張するもの、自國の領土内に於ける異民族に對しては壓抑を辭せず。エルザース・ロートリンゲンの佛人を威壓し又プロイセンに於て波蘭人丁抹人を虐待せるは數十年來世人の熟知する所なり。伯林のブルリユック教授の如き獨逸の侵略主義の爲に辯護の筆を弄するものも元來自由主義者なるが故にこの點に關しは常にプロイセン政府を攻撃せり。之に反してトライチケは元來ザクセン人なるも毫もドレーズデン政府に對する忠誠の念なく、プロイセン人よりもより以上のプロイセン人となり、青年時代の自由主義を幣履の如く抛て軍國主義の宣傳者と爲れり。而してその著書とその講義が現代の獨逸人に至大の感化を與へたるは否定す可からず。南獨に生れストラスブル大學に在りしツイーグラー教授の『獨逸思潮史』は數ばトラ

ライチケに對して批難を加へ、人をしてその書の目的の或は茲に存するにあらずやと疑はしむるものあり。同書はトライチケの『獨逸史』を評して左の如く曰へり。

『トライチケの感化を受けて青年の愛國思想は我等獨逸人の從來曾て知らざりし高潮に達した。愛國思想が餘りに狂態を呈し空論に馳する様になつたのはその責任で無いと云はれぬ。現在獨逸では大言壯語が喜ばれ、之に熱中して大言壯語を以て驕て事業と見做すに至つた。フリードリヒ皇帝がケーニヒスベルクの學生に向てかゝる誇張に陥らぬやうに警められ、又ストラスブルグ大學の大講堂で最後の演説を試み復び國民的自負を離れられたるのには實に至當のことであつた。但し獨逸青年の愛國思想のシヨージニズムに近き之に陥らんとするのを視し、余トライチケの責任にのみ歸せんとするのには、トライチケに不當の批評を下すもので且その意義を過重視するものである。トライチケは寧ろ國民の精神を動かし青年の思想に充實されて居つたものを雄大の文章で堂々と發表し殊に青年をして之を意識せしめたに過ぎぬのである』

移して以て目下新聞紙上に連載されつゝある某氏の論議を評す可きか、そは何れにもせよ評者も亦『愛國心の内容的發達が排外的より一進して列國共存忍容的時代に到るの期あらんこと

を希望する者なり。本書は學說の評論に於てシーリー、竝にトライチケに關する研究の外に小野塚教授の親灸せる巴里政治學校の創立者ブートミットの學說竝に佛人サレイユの比例選舉に關する學說を論評しあり。而して現代政治の評論の部には英國に於ける女子參政權問題の經過、現時の聯立内閣觀獨逸に於ける社會黨の軟化、伊國に於ける普通選舉施行の顛末等を收をあり。何れも開戦前後に於ける政變の重大なるものにして、獨逸社會黨の戦時に於ける行動に關して疑惑を抱けるものはペーベル死去に續て開かれたるエナ大會の議事に就て發明する所ある可く、英國に聯立内閣成立せりとの電報に接して政黨内閣制度を弔せんとする輕卒なる論客は小野塚教授の論斷と讀みてその蒙を啓くを得可し。女子參政權問題に就ては評者はその何が故に英國に於て特に自由黨内閣の下に於て女子の躍起運動を生ずるに至れるやに就て惑ふ所あり。本書二七頁の五個の原因も未だ以て評者を満足せしむる能はず。チエスタンは『文學上のヴィクトリア時代』

に於てヴィクトリア時代の婦人に精神の不安を認めて『此の不思議な極めて局地的な兩性の争が何に起因するや』余は問はぬ。蓋し之に對して答へ得ぬのである。或は投票權の爲であるとか或は結婚に關する法律上の不平等の存する爲であるとか云ふことは、余は餘りに實地に觸れて居るので論議することは出来ぬ。余の推測はこの争は或はヴィクトリア時代の男子が甚だしく尙武的精神を無視した爲ではないかと云ふのである。婦人は朦朧げながら自分は今なほ生命賭けの危険を冒して居るのに男子は之を冒して居らぬと感して居るのではあるまいか。然し余は之に就ては何事をも知らぬ、何人も之を知らぬのである』と云へり。英國の女子は種族保存の爲に産蔭の苦痛を忍ぶも男子は國家防備の爲に當然の義務を盡さず、而も男子惟り政權を壟斷せるが故に茲に於てか女子參政權運動起れりとの説明には一顧の價あり。果して然らば戦後徴兵制度依然として施行さるゝに於ては女子の參政權運動屏息す可きか。是れ勿論未決の疑問なり。(七月十五日、田中萃一郎)

前號(第七號)目次(大正五年七月號)

論 說

臺灣人同化論

慶應義塾 大學教授

田中萃一郎

英國王の大權と實際政治上の地位

慶應義塾 大學教授

占部百太郎

最近の巴爾幹問題(三完)

慶應義塾 大學教授

林 毅 陸

輸出獎勵の手段

法學博士

氣賀 勘重

雜 錄

歐洲戦争と米國の貿易状態(上)

法學博士

堀江 歸一

内國與信制度の研究(下)

山崎 繁樹

服部教授の『國際經濟論』を評す

向井 鹿松

雜 報

理財學會々報

編輯主任

堀江 歸一
高城 仙次郎

一冊定價 金二十五錢

郵税金壹錢五厘

一ヶ年前金 金二圓七十錢

郵 稅 共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛

●營業に關する用件は發賣元宛

●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正五年七月三十日印刷納本 行 每月一回一日發行

大正五年八月一日發行

三田會學雜誌 轉載 第十卷第五號

編輯兼發行所 東京市芝區田三丁目三番地慶應義塾内
石田 新太郎
東京市麻布區龍土町七十五番地
印 刷 者 金子 榮太郎
東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印 刷 所 金子活版印刷所

發賣元 東京市麴町區有樂町一丁目一番地
叔山書店

振替貯金口座東京二四一七番
電話本局二二三三番
尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會